

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公表番号】特表2010-517760(P2010-517760A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-549063(P2009-549063)

【国際特許分類】

B 03 B 5/30 (2006.01)

B 29 B 17/00 (2006.01)

C 08 L 83/04 (2006.01)

C 08 K 7/28 (2006.01)

【F I】

B 03 B 5/30 Z A B

B 29 B 17/00

C 08 L 83/04

C 08 K 7/28

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月27日(2011.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

硬化シリコーン組成物とプラスチックとを分別する方法であって、

I ) 硬化シリコーン組成物及びプラスチックを該硬化シリコーン組成物の比重と該プラスチックの比重との間の比重を有する液体と併せること、

II ) 硬化シリコーン組成物層及びプラスチック層を形成するために、該硬化シリコーン組成物及び該プラスチックを該液体中で層別化させること、及び

III ) 該硬化シリコーン組成物層又は該プラスチック層のいずれかを該液体から除去することによって、該硬化シリコーン組成物及び該プラスチックを物理的に分別すること、

を含む硬化シリコーン組成物とプラスチックとを分別する方法。

【請求項2】

前記硬化シリコーン組成物が、オルガノポリシロキサンと中空粒子とを含み、該中空粒子が、前記硬化シリコーン組成物の比重を1未満に低減させるのに十分な量で該硬化シリコーン組成物中に存在する請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記オルガノポリシロキサンが、(A)各分子中に少なくとも2つのケイ素結合アルケニル基を含有するアルケニルポリシロキサン、(B)各分子中に少なくとも2つのケイ素結合水素原子を含有するオルガノハイドロジエンポリシロキサン及び(C)白金触媒を含む組成物から形成され、ここで、該(B)成分中に含有されるケイ素結合水素原子と、該(A)成分中に含有されるケイ素結合アルケニル基とのモル比が0.3:1~5:1の範囲内である請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記硬化シリコーン組成物を射出成形によって形成する請求項1に記載の方法。

**【請求項 5】**

硬化シリコーン組成物とプラスチックとを含み、請求項 1 に記載の方法に従って再利用可能である組成物。